

第 2 庶 務 事 項

1. 評議員会に関する事項

(1) 書面審議による評議員会

ア 期 日 平成18年6月27日(火)

イ 審議事項 平成17年度事業報告および収支決算報告について
平成18年度補正予算について
中学3年生の国体ソフトテニス競技の参加

(2) 平成18年度評議員会

ア 期 日 平成18年12月17日(日)

イ 会 場 全共連ビル4F「大会議室」
議事に入る前に例年の通り表彰式を行なった。

ウ 審議事項

平成18年度第2次補正予算(案)について
長期基本計画(案)について
平成19年度事業計画(案)について
平成19年度収支予算(案)について
寄附行為の変更(申請)について
理事会提案について
平成19年度評議員会日程について
役員改選について

2. 理事会に関する事項

(1) 第1回理事会

ア 期 日 平成18年4月22日(土)

イ 会 場 全日本中学校長会館4F「会議室」

ウ 議 題 平成18年度事業推進および平成19年度以降の長期計画について
会員登録について
傷害補償制度(死亡見舞金の制度化)について
公認申請「ユニフォーム・ダイワ精工(Prince)」について
公認辞退「シューズ・ディアドラジャパン」について
ラケットの公認申請について
指導者の海外派遣について
国際大会日本代表選手選考の理事会決定について
国際大会派遣助成に関する規程について

(2) 第2回理事会

ア 期 日 平成18年6月17日(土)

イ 会 場 全共連ビル「会議室」

ウ 議 題 平成17年度事業報告および決算報告について
平成18年度第1次補正予算について
中学3年生の国体参加について

(3) 第 3 回理事会

- ア 期 日 平成 1 8 年 9 月 2 3 日 (土)
- イ 会 場 全日本中学校長会館 4 F 「会議室」
- ウ 議 題 平成 1 9 年度事業計画および予算編成方針について
次期長期計画 (案) について
ソフトテニス用具、用品「ラケット」の公認申請について
役員改選について
平成 1 8 年度 1 級審判員検定会、研修会について

(4) 第 4 回理事会

- ア 期 日 平成 1 8 年 1 1 月 1 8 日 (土) ~ 1 9 日 (日)
- イ 会 場 広島県総合体育館「会議室」
- ウ 議 題 長期基本計画 (2 0 0 7 ~ 2 0 1 1) について
平成 1 9 年度事業計画 (案) および収支予算 (案) について
専門委員会提案 (大会要項変更) について
ソフトテニス用具、用品「ラケット」の公認申請について
支部功労者および優良団体について
平成 1 9 年度評議員会日程について
寄附行為の変更 (申請) について
読売スポーツ賞候補者推薦について

(5) 第 5 回理事会

- ア 期 日 平成 1 8 年 1 2 月 1 6 日 (土)
- イ 会 場 全共連「101 会議室」
- ウ 議 題 平成 1 8 年度第 2 次補正予算 (案) について
長期基本計画案 (2 0 0 7 ~ 2 0 1 1) について
平成 1 9 年度事業計画 (案) および収支予算 (案) について
ソフトテニス用具、用品「ラケット」の公認申請について
寄附行為の変更 (申請) について

(6) 第 6 回理事会

- ア 期 日 平成 1 9 年 1 月 2 7 日 (土)
- イ 会 場 全日本中学校長会館 4 F 「会議室」
- ウ 議 題 参与の推薦について
学連・高体連・中体連代表者の理事会出席について
平成 1 9 - 2 0 年度専門委員会構成について
各専門委員会の長期・1 9 年度事業推進計画の提出について
ソフトテニス用具、用品「ラケット」の公認申請について
コート施設業者の公認辞退 (松本製網) について
平成 1 5 年度理事会日程について
平成 1 9 年度ナショナルチーム、全日本 U のスタッフ及び選手について
全日本選手権大会の大会要項改訂に伴う学連選手の取り扱いにつて

3. 専門委員会等に関する事項

(1) 各専門委員会等諸会議が、次のとおり開催された。

月	日	専門委員会(部会)名	会 場
4	1	プログラム編成部会	東京体育館会議室
	15	プログラム編成部会	東京都ソフトテニス連盟
	15	会員登録制度部会	全日本中学校長会館
5	13	広報委員会	全日本中学校長会館
	20	マネジメント部会	全日本中学校長会館
6	3	審判委員会	全日本中学校長会館
	4	総務委員会	全日本中学校長会館
	11	生涯スポーツ委員会	全日本中学校長会館
	29	プログラム編成部会	東京都ソフトテニス連盟
	30	競技委員会	全日本中学校長会館
7	1	プログラム編成部会	東京都ソフトテニス連盟
	2	競技委員会	全日本中学校長会館
	15	国際振興プロジェクト	白子町
	15	強化委員会	全日本中学校長会館
	22	会員登録制度部会	全日本中学校長会館
	22	プログラム編成部会	岸記念体育会館
8	12	国際振興プロジェクト	全日本中学校長会館
	16	プロ編成(マスターズ)	岸記念体育会館
	26	プログラム編成部会	岸記念体育会館
	27	プログラム編成部会	岸記念体育会館
9	1	プログラム編成部会	岸記念体育会館
	8	プログラム編成(国体)	岸記念体育会館
	11	強化委員会	有明
	16	国際振興プロジェクト	福山市
	24	プログラム編成部会	岸記念体育会館
10	7	プログラム編成部会	白子町
	22	強化委員会	福岡市
11	5	競技者育成部会	全日本中学校長会館
	11	会員登録制度部会	全日本中学校長会館
1	7	ドーピングコントロール	東京体育館
2	4	審判員合否判定会議	大阪体育館
	12	マネジメント部会	岸記念体育会館
	12	強化委員会	岸記念体育会館

月	日	専門委員会(部会)名	会 場
2	2 3	医科学部会	岸記念体育会館
	2 4	専門委員長会議	大磯プリンスホテル
	2 4	プログラム編成部会	岸記念体育会館
	2 8	機関誌編集部会	国立代々木競技場505
3	4	強化・競技者育成合同会議	岸記念体育会館
	7	機関誌編集部会	国立代々木競技場505
	1 1	審判委員会	全日本中学校長会館
	1 2	ITシステム	岸記念体育会館
	2 1	マネジメント部会	京都府体育協会会議室
	2 2	国際振興プロジェクト	全日本中学校長会館
	2 4	広報委員会	全日本中学校長会館
	2 4	会員登録制度部会	全日本中学校長会館

(2) 中学校会員登録担当者会議 (4 月 1 5 日 : 全日本中学校長会館)

(3) 中学校会員登録理事長会議 (4 月 1 6 日 : 全日本中学校長会館)

(4) 選考委員会 (1 0 月 8 日 : 全日本中学校長会館)

(5) 競技者育成プログラム普及促進事業会議 (1 2 月 2 3 日 : 札幌)

(6) 生涯スポーツコンベンション会議 (1 9 年 1 月 1 9 日 : 郡山市)

(7) スポーツと環境会議 (9 月 2 2 日 : 長野)

(8) 第 1 5 回アジア競技大会祝勝会 (1 2 月 1 6 日 : 東京グリーンパレス)

4. 理事・監事・評議員・専門委員・顧問・参与・事務局職員に関する事項

(1) 平成18年度 理事 23名

役 職	氏 名	選出母体	役 職	氏 名	選出母体
会 長	海部俊樹	学識経験者	理 事	武 鑑 守	中 国
副 会 長	林 敏 弘			上 田 喜 博	四 国
	表 孟 宏			姫 野 嘉 孝	九 州
	西 村 信 寛			北 山 敏 隆	学 連
専務理事	笠井達夫	会長推薦		山 本 照 夫	高 体 連
理 事	佐藤正矩	北 海 道		佐々木 悟	中 体 連
	本田茂雄	東 北		会長推薦	小 原 信 幸
	藤原伸二	関 東			西 田 豊 明
	星野 博	東 京			宮 下 恭 子
	和歌浦信雄	北 信 越			石 井 源 信
	斉藤元三	東 海			柳 下 秋 久
	正城 與四次	近 畿			

(2) 平成18年度 監事 3名

氏 名	支 部	氏 名	支 部	氏 名	支 部
北 村 和 久	三 重	安 田 直 之	群 馬	大 西 貞 夫	大 阪

(3) 平成18年度 評議員 50名

氏 名	支 部	氏 名	支 部	氏 名	支 部
富 樫 康 夫	北 海 道	新 保 俊 彦	青 森	菊 池 栄 光	岩 手
松 田 孝 志	宮 城	萬 正 一	秋 田	山 田 耕 司	山 形
川 島 登	福 島	額 賀 富 雄	茨 城	田 村 哲 二	栃 木
鈴 木 正 彦	群 馬	井 下 洪 平	埼 玉	石 川 雅 利	千 葉
今 井 史 郎	東 京	野 田 寛	神 奈 川	向 山 淳	山 梨
八 子 建 悟	新 潟	宮 沢 幸 男	長 野	高 倉 正 和	富 山
井 上 清 一	石 川	川 畑 茂	福 井	落 合 敏 男	静 岡
横 野 久 美 子	愛 知	内 田 政 和	三 重	市 原 茂 徳	岐 阜
福 地 茂	滋 賀	山 本 毅	京 都	阿 部 宗 一	大 阪
森 崎 俊 夫	兵 庫	川 西 斎	奈 良	筒 井 満	和 歌 山
安 東 健 司	鳥 取	森 脇 孝 吉	島 根	重 平 静 洋	岡 山
神 鳥 泰 次	広 島	秋 枝 正 文	山 口	馬 詰 悟	徳 島
松 浦 充	香 川	小 村 丈 夫	愛 媛	横 江 忠 志	高 知
鶴 博 式 剛	福 岡	江 頭 武 典	佐 賀	馬 場 信 幸	長 崎
吉 田 博 紀	熊 本	片 野 秀 樹	大 分	寺 園 囃 順	宮 崎
川 畑 城	鹿 児 島	仲 間 正 弘	沖 縄	大 西 由 佳	日 学 連
大 川 晋 一	高 体 連	間 中 和 男	中 体 連		

(4) 平成18年度 専門委員会委員

総務委員会	委員長	和歌浦 信雄			
会員登録制度部会	委員	星野 博	佐藤 正矩	武 鍵 守	柳 下 秋 久
		佐々木 悟	出 石 稔		
	部会長	佐々木 悟			
	委員	今井 史郎	川 島 登	中 田 正 雄	北 正 三
金子 知行		大 西 由 佳			

審判委員会	委員長	小原 信幸			
	委員	柳下 秋久	上 田 喜 博	今 井 史 郎	北 村 和 久
		林田 正信	出 石 稔	荒 木 稜 夫	丹 崎 健 一
		田中 敏雄	蒲 原 英 敏	上 山 親 子	荒 畑 鈴 佳

競技委員会	委員長	藤原 伸二			
	委員	斉藤 元三	宮 下 恭 子	上 田 喜 博	長 岡 敏 久
		土博 朋典	笛 岡 宣 明		
	プログラム編成部会	部会長	長岡 敏久		
委員		斉藤 元三	上 田 喜 博	佐 藤 健 司	石 川 雅 利
		木谷 順三	小笠原 浩二	中 野 吉 広	山 口 眞 護
		渡部 秀二	土博 朋典	池 田 光 雄	木 所 一 典
用具施設部会	部会長	斉藤 元三			
	委員	武 鍵 守	姫 野 嘉 孝	小 原 信 幸	

強化委員会	委員長	西田 豊明			
	委員	武 鍵 守	石 井 源 信	福 林 徹	時 安 繁
		金治 義昭	北 本 英 幸	神 崎 公 宏	斉 藤 広 宣
		渡部 政治	若 梅 明 彦		
医科学部会	部会長	福 林 徹			
	委員	石 井 源 信	水 野 哲 也	山 本 裕 二	工 藤 敏 巳
		平 田 悦 造	楠 堀 誠 司	井 田 博 史	

指導委員会	委員長	石 井 源 信			
	委員	西田 豊明	斉 藤 元 三	渡 部 政 治	北 本 英 幸
		小野寺 剛	井 田 博 史	神 崎 公 宏	榎 並 紳 吉
		岡村 勝幸			
等級制度部会	部会長	斉 藤 元 三			
	委員	今 井 史 郎	荒 木 稜 夫		

生涯スポーツ委員会	委員長	本 田 茂 雄			
	委員	佐 藤 正 矩	宮 下 恭 子	姫 野 嘉 孝	正 城 与 四 次

		北山敏隆	佐々木 悟	間宮栄二	篠 埜 護
		野際照章	井上 創	大西由佳	
小学生普及部会	部会長	佐藤正矩			
	委員	渡辺武夫	松口康彦	芝地康幸	石川雅利
		金岡昭房	國枝俊子		
シニア部会	部会長	宮下恭子			
	委員	姫野嘉孝	正城与四次	大西貞夫	時任宥幸
		田中敏彦	横野久美子	保倉謙治	原田公夫
		大川京子			

国際委員会	委員長	星野 博			
	委員	西田豊明	内藤享佑	内藤尚男	橋本茂樹
		神鳥泰次	長岡敏久	丹崎健一	山口正紀
		福博穰司	蒲原英敏	小野政昭	佐伯善春

広報委員会	委員長	武 鍵 守			
	委員	星野 博	柳下秋久	工藤敏巳	中山俊介
		萩原廣一	大高宏元	小野寺 剛	
	機関誌編集部会	部会長	柳下秋久		
委員		田中美明			
IT部会	部会長	工藤敏巳			
	委員	小澤 浩	大野勝敏	土博朋典	内原 繁
		北 正三			

《特別委員会》

ドーピング判定委員会	委員長	笠井達夫			
	委員	福林 徹	大西祥平	柳澤尚武	藤原伸二

ドーピングコントロール委員会	委員長	福林 徹			
	委員	平田悦造	永井博典	児島瑞夫	大西祥平
		水野哲也			

競技者資格委員会	委員長	笠井達夫			
	委員	和歌浦信雄	藤原伸二	小原信幸	宮下恭子
		佐々木 悟	山本照夫	北山敏隆	

倫理委員会	委員長	林 敏 弘			
	副委員長	笠井達夫			
	委員	表 孟宏	西村信寛	和歌浦信雄	藤原伸二
		宮下恭子			

競技者育成プログラム推進委員会	委員長	笠井達夫			
	委員	西田豊明	石井源信	武 鍵 守	北山敏隆
		山本照夫	佐々木 悟	佐藤正矩	
競技者育成部会	部会長	西田豊明			

	部会員	北本英幸 小野寺剛	渡部政治 林三千夫	神崎公宏	中本裕二
指導者育成部会	部会長	石井源信			
	部会員	岡村勝幸	林三千夫	小野寺剛	榎並紳吉
マネジメント部会	部会長	武鍵守			
	部会員	野際照章 重平静洋	岡村勝幸 井上創	林三千夫 野口英一	小野寺剛

国際振興検討 プロジェクト	委員長	笠井達夫	アドバイザー：西村信寛		
	委員	田辺理 山口正紀	星野博	丹崎健一	神鳥泰次

(5) 平成18年 顧問・参与・事務局職員

《顧問》

天沼照夫	林岩雄	小川寧治	小澤洋太郎	松本忠吉
中屋卯三郎	倉田裕司	松田謙治	斎藤孝弘	奥田忠雄
内田昌一				

《参与》

山口紀夫	長瀬二郎	鬼塚喜八郎	水野正人	米山宏作
萩原修	高松政男	松田信穂	林幸夫	中山昌作
内藤享佑	伊野二彦	和田祥司	吉田敏彦	

(事務局職員)

事務局長	瀬戸幹男 平成13年 4月1日～	職員	西村真澄	平成13年11月1日～
			竹田稔	平成10年4月1日～
			荒木朋子	平成3年5月1日～
			大八木洋子	平成13年4月1日～
			山浦和博	平成16年5月1日～

(6) 平成19年度 理事 23名

役 職	氏 名	選出母体	役 職	氏 名	選出母体	
会 長	海部 俊樹	学識経験者	理 事	姫野 嘉孝	九州	
副 会 長	林 敏弘			小原 信幸	会長推薦	
	表 孟宏			宮下 恭子		
	西村 信寛	西田 豊明				
専務理事	笠井 達夫	会長推薦		石井 源信		会長推薦
理 事	本田 茂雄	北薩・魁		柳下 秋久		
	藤原 伸二	関 東		丹崎 健一		
	和歌浦 信雄	北信越		野口 英一		
	斉藤 元三	東 海		笛岡 宣明		
	正城 與四次	近 畿		岡村 勝幸		
	神鳥 泰次	中 国	神崎 公宏			
	上田 喜博	四 国				

(7) 平成19年度 監事 3名

氏 名	支 部	氏 名	支 部	氏 名	支 部
北村 和久	三重	大西 貞夫	大阪	井上 清一	石川

(8) 平成19年度 評議員 50名

氏 名	支 部	氏 名	支 部	氏 名	支 部
富 樫 康夫	北海道	新 保 俊彦	青 森	新 沼 正博	岩 手
松 田 孝志	宮 城	萬 正 一	秋 田	山 田 耕司	山 形
川 島 登	福 島	額 賀 富雄	茨 城	田 村 哲二	栃 木
鈴 木 正彦	群 馬	山 下 晴海	埼 玉	石 川 雅利	千 葉
山 博 隆一	東 京	笠 井 一栄	神奈川	千 野 一也	山 梨
八 子 建悟	新 潟	堀 内 昭	長 野	高 倉 正和	富 山
真 島 仁志	石 川	川 畑 茂	福 井	落 合 敏男	静 岡
横 野 久美子	愛 知	内 田 政和	三 重	木 村 芳雄	岐 阜
福 地 茂	滋 賀	山 本 毅	京 都	阿 部 宗一	大 阪
森 田 賢二	兵 庫	川 西 斎	奈 良	花 田 一弥	和歌山
安 東 健司	鳥 取	森 脇 孝吉	鳥 根	重 平 静洋	岡 山
木 原 晴彦	広 島	秋 枝 正文	山 口	馬 詰 悟	徳 島
松 浦 充	香 川	青 野 實則	愛 媛	横 江 忠志	高 知
中 野 賢治	福 岡	江 頭 武典	佐 賀	馬 場 信幸	長 崎
吉 田 博紀	熊 本	片 野 秀樹	大 分	寺 園 園順	宮 崎
川 畑 城	鹿 児 島	仲 間 正弘	沖 縄	梨 本 美由紀	日学連
大 川 晋一	高体連	間 中 和男	中体連		

(9) 平成19年度 専門委員会委員

総務委員会	委員長	和歌浦 信雄
-------	-----	--------

会員登録制度部会	委員	柳下秋久	斉藤元三	神鳥泰次	姫野嘉孝
		丹崎健一	出石稔		
	部会長	和歌浦信雄			
	委員	田鹿明彦	今井史郎	川島登	北正三
		大西正明	梨本美由紀	岡村勝幸	

審判委員会	委員長	小原信幸			
	委員	柳下秋久	北村和久	今井史郎	林田正信
		出石稔	荒木稜夫	丹崎健一	田中敏雄
		蒲原英敏	笛岡宣明	藤原伸二	荒畑鈴佳
		上山親子			

競技委員会	委員長	藤原伸二			
	委員	斉藤元三	宮下恭子	上田喜博	笛岡宣明
		長岡敏久	土博朋典	小原信幸	
プログラム編成部会	部会長	長岡敏久			
	委員	斉藤元三	上田喜博	佐藤健司	石川雅利
		木谷順三	小笠原浩二	八代醜雅文	山口眞護
		渡部秀二	土博朋典	池田光雄	木所一典
		小俣三男	大川京子	高川恵美子	
用具施設部会	部会長	斉藤元三			
	委員	小原信幸	姫野嘉孝	笛岡宣明	

強化委員会	委員長	西田豊明			
	委員	神崎公宏	石井源信	福林徹	金治義昭
		北本英幸	斉藤広宣	渡部政治	若梅明彦
		中本裕二	上松明裕		
医科学部会	部会長	福林徹			
	委員	石井源信	水野哲也	山本裕二	工藤敏巳
		出家正隆	藤島淑子	楠堀誠司	井田博史
		川上晃司			

指導委員会	委員長	石井源信			
	委員	西田豊明	渡部政治	神崎公宏	小野寺剛
		岡村勝幸	檀並紳吉	井田博史	中本裕二
		安達和紀	篠辺保		
等級制度部会	部会長	岡村勝幸			
	委員	今井史郎	荒木稜夫	安達和紀	篠辺保

生涯スポーツ委員会	委員長	本田茂雄			
	委員	丹崎健一	宮下恭子	佐藤正矩	姫野嘉孝
		正城與四次	佐々木悟	北山敏隆	間中和男

		野 際 照 章	間 宮 栄 二	田部井 喜 行	梨 本 美由紀
		大 川 京 子			
小学生普及部会	部会長	丹 崎 健 一			
	委 員	渡 辺 武 夫	松 口 康 彦	芝 地 康 幸	石 川 雅 利
		金 岡 昭 房	國 枝 俊 子	川 並 久美子	
シニア部会	部会長	宮 下 恭 子			
	委 員	姫 野 嘉 孝	正 城 與四次	大 西 貞 夫	時 任 宥 幸
		保 倉 謙 治	山 村 嘉 一	原 田 公 夫	田 中 敏 彦
		横 野 久美子	大 川 京 子		

国 際 委 員 会	委員長	丹 崎 健 一			
	委 員	西 田 豊 明	内 藤 享 佑	橋 本 茂 樹	神 鳥 泰 次
		長 岡 敏 久	山 口 正 紀	福 博 穰 司	蒲 原 英 敏
		小 野 政 昭	佐 伯 善 春	玉 木 進	野 口 英 一

広 報 委 員 会	委員長	柳 下 秋 久			
	委 員	中 山 俊 介	萩 原 廣 一	大 高 宏 元	小野寺 剛
		北 正 三	近 藤 貴 予		
機関誌編集部会	部会長	柳 下 秋 久			
	委 員	田 中 美 明	近 藤 貴 予		
I T 部 会	部会長	北 正 三			
	委 員	小 澤 浩	大 野 勝 敏	土 博 朋 典	内 原 繁
		天 野 晴 夫			

《特別委員会》

ドーピング判定委員会	委員長	笠 井 達 夫			
	委 員	福 林 徹	大 西 祥 平	柳 澤 尚 武	藤 原 伸 二

ドーピングコントロール委員会	委員長	福 林 徹			
	委 員	出 家 正 隆	永 井 博 典	藤 島 淑 子	梶 山 祥 子
		川 上 晃 司			

競技者資格委員会	委員長	笠 井 達 夫			
	委 員	和歌浦 信 雄	藤 原 伸 二	小 原 信 幸	宮 下 恭 子
		田 鹿 明 彦	大 川 晋 一	北 山 敏 隆	

倫 理 委 員 会	委員長	林 敏 弘			
	副委員長	笠 井 達 夫			
	委 員	表 孟 宏	西 村 信 寛	和歌浦 信 雄	藤 原 伸 二
		宮 下 恭 子			

競技者育成プログラム推進委員会	委員長	笠井達夫			
	委員	西田豊明	石井源信	武鐘守	北山敏隆
		大川晋一	田鹿明彦	丹崎健一	神崎公宏
		野際照章			
競技者育成部会	部会長	神崎公宏			
	委員	斉藤広宣	渡部政治	中本裕二	小野寺剛
		林三千夫	岡村勝幸	野口英一	篠辺保
指導者育成部会	部会長	石井源信			
	委員	岡村勝幸	小野寺剛	榎並紳吉	神崎公宏
		安達和紀	篠辺保		
マネジメント部会	部会長	野際照章			
	委員	岡村勝幸	林三千夫	小野寺剛	重平静洋
		井上創	野口英一	天野晴夫	

国際振興検討プロジェクト	委員長	笠井達夫			
	委員	丹崎健一	アドバイザー：西村信寛		
		田辺理	神鳥泰次	山口正紀	橋本貞夫
		野口英一			

(10) 平成19年 顧問・参与・事務局職員

《顧問》

天沼照夫	林岩雄	小川寧治	松本忠吉	中屋卯三郎
倉田裕司	松田謙治	斎藤孝弘	奥田忠雄	内田昌一

《参与》

山口紀夫	長瀬二郎	鬼塚喜八郎	水野明人	米山宏作
萩原修	高松政男	松田信穂	林幸夫	中山昌作
内藤享佑	伊野二彦	和田祥司	吉田敏彦	星野博

(事務局職員)

事務局長	瀬戸幹男 平成13年 4月1日～	職員	西村真澄	平成13年11月1日～
			竹田稔	平成10年4月1日～
			荒木朋子	平成3年5月1日～
			大八木洋子	平成13年4月1日～
			古川一久	平成19年4月1日～

5. 会員登録制度の実施に関する事項

次のとおり会員が登録した。

(数値：人数)

種別	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	一般	合計
平成18年度	17,742	240,872	93,199	373	7,567	53,787	413,540
平成17年度	18,084	213,181	96,335	344	7,266	52,422	387,632
平成16年度	19,410	369,672	94,305	115	7,153	49,616	540,271
平成15年度	16,739	370,521	90,116	216	6,654	49,417	533,663
平成14年度	16,654	370,570	87,409	247	6,255	49,083	530,218

(注) 都道府県別会員数は別表4(P46)に掲載

6. 分担金に関する事項

(1) 支部分担金

一律 150,000円 × 50支部 7,500,000円

(2) 会員登録料

(単位：円)

種別	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	一般	合計
金額	8,871,000	120,436,000	46,599,500	186,500	3,783,500	53,787,000	233,663,500

(3) 維持会費

ア. 公認メーカー

(単位：円)

用具・用品	金額	公認メーカー
ラケット・10社	1,000,000	カワサキ・ミズノ・昭和ゴム・ヨネックス・ゴーセン ヒロウン・SRISポーツ・ダイワ精工・タケマエ・ジャパーナ
ボール・2社	5,520,000	昭和ゴム・ナガセケンコー
ネット・9社	900,000	鐘屋産業・アシックス・松本製網・寺西喜商店・ミセキネット 昭和ゴム・高須賀・テイエヌネット・鶴沢ネット
ストリング・5社	3,300,000	ゴーセン・東亜ストリング・ヨネックス・SRISポーツ・ミズノ
ユニフォーム 11社	12,760,000	カワサキ・ミズノ・昭和ゴム・ヨネックス・ゴーセン アシックス・ゴールドウイン・ナイキジャパン SRISポーツ・アディダスジャパン・ダイワ精工
シューズ 9社	4,320,000	アシックス・ヨネックス・ナイキジャパン・ゴーセン アディダスジャパン・SRISポーツ・ミズノ・ダイワ精工 ブリヂストン
計	27,800,000	

イ. 施設業者

(単位：円)

施設・製造	金額	業者名
施設業者・2社	1,000,000	NIPPONコーポレーション・奥アンツーカー
砂入り人工芝 製造業者・5社	2,500,000	SRIハイブリッド・積水樹脂・大塚ターフテック(大家家具製造販売) 東和織物・エスディーテック
計	3,500,000	

ウ.一般

(単位:円)

150,000	大鹿 洪司	岐阜						
50,000	内田 昌一	京都	林 敏弘	東京	西村 信寛	東京	三田クラブ	東京
	稲門クラブ	東京						
30,000	米山 宏作	宮城	表 孟宏	兵庫	笠井 達夫	神奈川	本田 茂雄	宮城
	安田 直之	群馬	柳下 秋久	東京	星野 博	東京	大西 貞夫	大阪
	石井 源信	東京	藤原 伸二	千葉	上田 喜博	徳島	姫野 嘉孝	大分
	武 鍵 守	広島	北村 和久	三重	山本 照夫	宮城	西田 豊明	東京
	宮下 恭子	大阪	佐藤 正矩	北海道	小原 信幸	岡山	正城 与四次	兵庫
	斉藤 元三	愛知	北山 敏隆	京都	ミズノ		ゴーセン	
	昭和ゴム		若梅 明彦	千葉	斉藤 広宣	千葉	浅川 佳子	東京
	川上 晃司	兵庫	和歌浦 信雄	新潟	佐々木 悟	東京		
10,000	松本 忠吉	宮城	倉田 裕司	大阪	高松 政男	栃木	長瀬 二郎	茨城
	林 岩雄	栃木	松田 信穂	千葉	中屋 卯三郎	岐阜	奥田 忠雄	岐阜
	村上 照五郎	岩手	楠 武徳	千葉	高木 安一郎	静岡	沼本 脩	静岡
	伊藤 朱	静岡	内田 政和	三重	古城 郁夫	栃木	田村 哲二	栃木
	早川 敏生	愛知	横野 久美子	愛知	大川 晋一	茨城	片野 秀樹	大分
	内藤 享佑	東京	金子 知行	千葉	石井 秀夫	佐賀	江頭 武典	佐賀
	長岡 敏久	埼玉	金岡 昭房	宮城	時任 宥幸	東京	保倉 謙治	埼玉
	北 正三	埼玉	林田 正信	熊本	神鳥 泰次	広島	荒木 稜夫	東京
	中本 裕二	広島	佐藤 健司	京浜商業印刷	篠 埜 護	岡山	小野 政昭	広島
	橋本 茂樹	福岡	荒畑 鈴佳	岐阜	林 三千夫	和歌山	田中 敏彦	山梨
	石川 雅利	千葉	大川 京子	千葉	若梅 明彦	千葉	斉藤 広宣	千葉
	福林 徹	東京	井上 創	兵庫	笛岡 宣明	愛知	田中美明	埼玉
	大野 勝敏	東京	渡辺 武夫	東京	池田 光雄	東京	北本 英幸	石川
	アシックス		野口 英一	東京	金治 義昭	兵庫	今井 史郎	東京
	原田 公夫	鳥取	平田 悦造	広島	鍵 紀代子	宮城		

7. 補助金・助成金等に関する事項

(1) 助成金

(単位：円)

日本体育協会	国民体育大会役員旅費	591,320
スポーツ振興センター	選手強化事業(ジュニア選手強化合宿)	1,200,000
	国内大会開催(全日本選手権大会)	1,500,000
スポーツ振興くじ	ドーピング検査	150,000
	競技者育成プログラム	1,200,000

(2) 委託金

(単位：円)

日本オリンピック委員会	選手強化事業(ナショナルチーム強化合宿)	2,149,000
日本体育協会	大会委託金(日本スポーツマスターズ)	1,781,162
	公認コーチ養成講習会委託金	972,010

(3) 補助金

(単位：円)

日本オリンピック委員会	マーケティングプログラム助成金	918,000
	競技者育成プログラム	5,000,000
ヨネックススポーツ財団	研究事業補助	550,000

8. 寄付金・協賛金に関する事項

(1) 免税募金

ア. 選手強化事業

(単位：円)

林 敏 弘	950,000
宮 崎 正 己	380,000

(2) 協賛金

(単位：円)

ミズノ(株)「全日本インドア大会協賛金」	250,000
ミズノ(株)「フィリピン普及指導活動協賛」	200,000
ミズノ(株)「ナショナル・ジュニアナショナル、チーム協賛金」	2,000,000
ヨネックス(株)「ナショナル・ジュニアナショナル、チーム協賛金」	2,000,000
ヨネックス(株)「ナショナル・ジュニアナショナルチーム、ストリング協賛金」	500,000
(株)コーセン「ナショナル・ジュニアナショナルチーム、ストリング協賛金」	500,000
全国書籍出版(ミニミニ)	4,500,000
ナガセケンコー(株)「国際振興協力」	300,000
クラブニッポン(株)「競技者育成Step-4協賛」	1,500,000

(3) 新規公認

(単位：円)

ダイワ精工(株)	ユニフォーム	5,000,000
----------	--------	-----------

9. 傷害補償制度の給付金に関する事項

48件 1,694,000円を給付した。

怪我の内訳

傷害の内容	一般	大学生	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	11					11
骨折	6		1	2	1	10
靭帯損傷	2		2			4
肉離れ	8					8
半月板損傷			1			1
死亡						0
その他	11		1		2	14
計	38	0	5	2	3	48